

格闘戦

CONTENTS

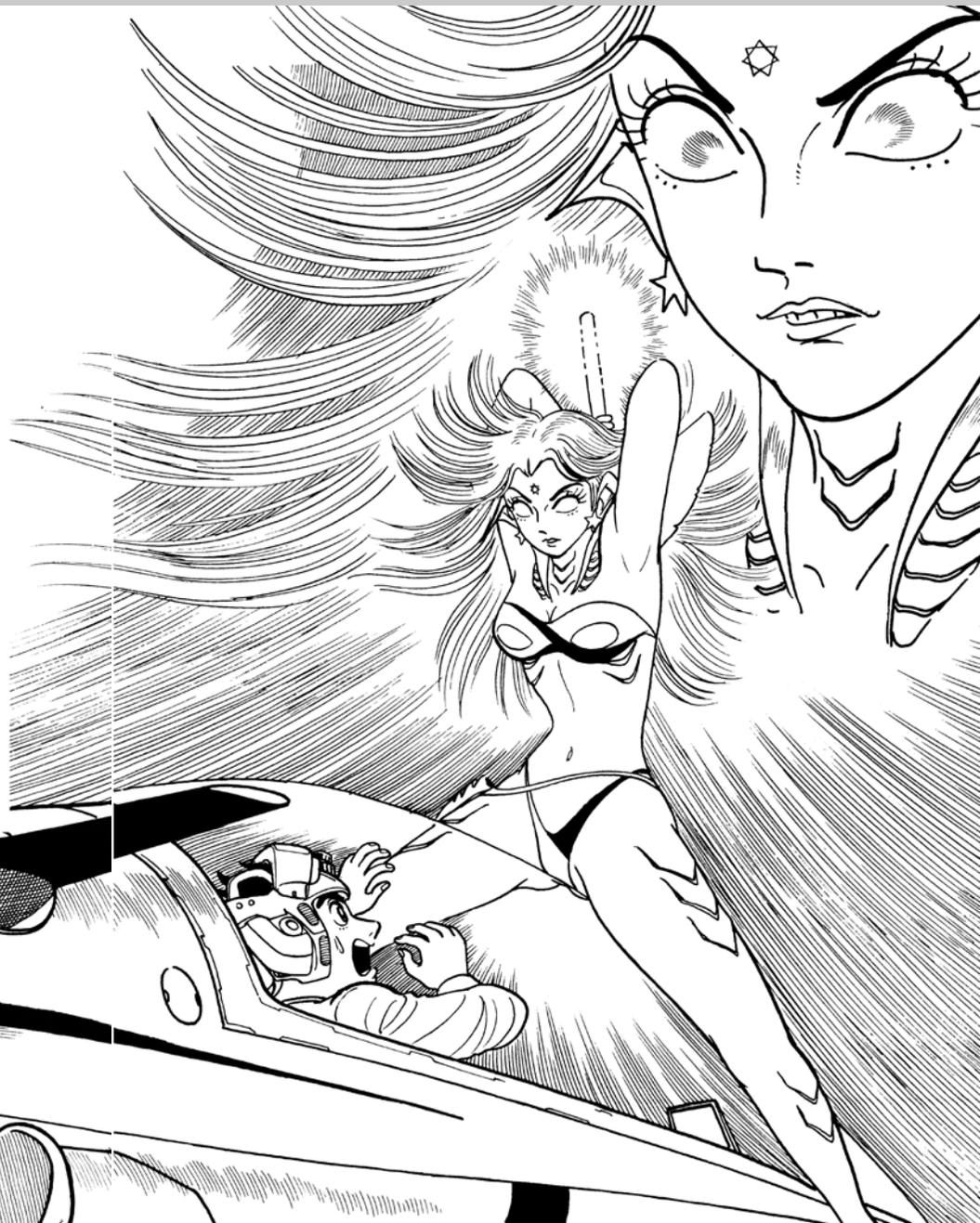
第1章	青6を吐き出せ!	11
第2章	いま、この一瞬の判断に	67
第3章	指紋のない歌声	109
第4章	全艦急航せよ!	135
第5章	あれからの六豪	183
第6章	地獄の釜のフタが開く!	211
第7章	標的は六豪!	259
第8章	焦げた臭い	315
第9章	深海のブラックホール	323
第10章	釣り場の中の暗闘	349

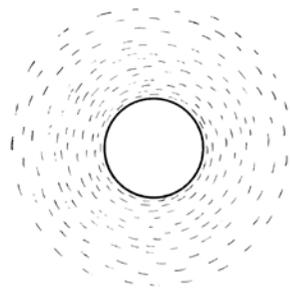
特別収録

- ・『サブマリン707 外伝』ボールペンラフ
- ・『サブマリン707 ディスカバー』ボールペンラフ

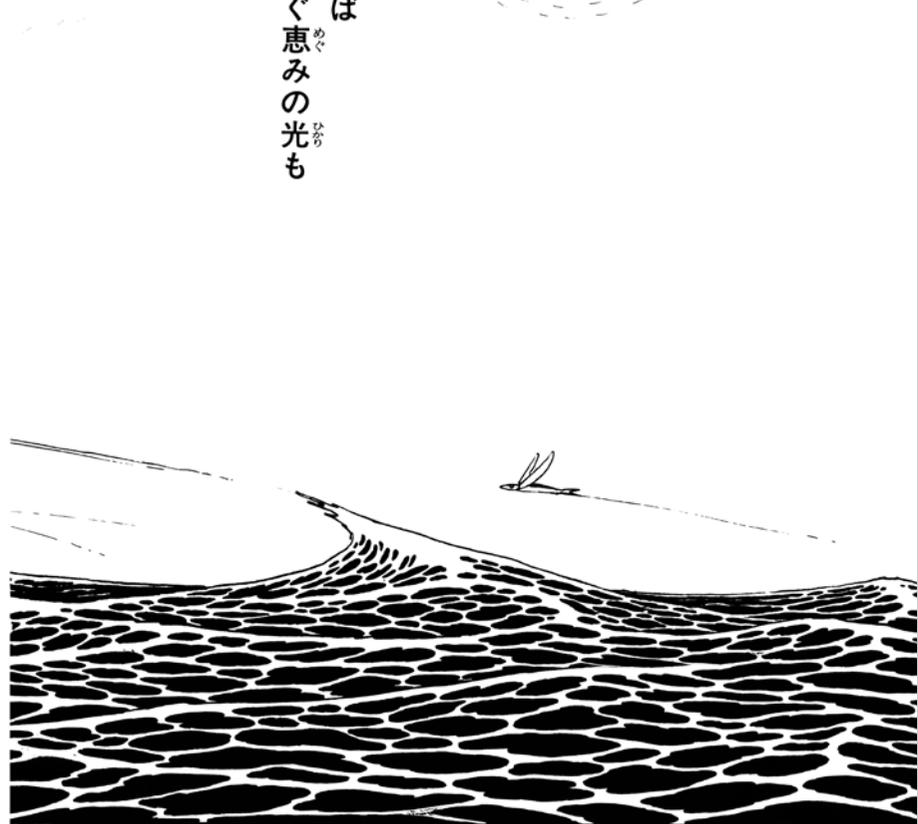
初出

- 『青の6号 ② 格闘編』(世界文化社) 1997年9月
- 『青の6号 ③ 会戦編』(世界文化社) 1997年11月
- 『青の6号 ④ 激戦編』(世界文化社) 1998年3月



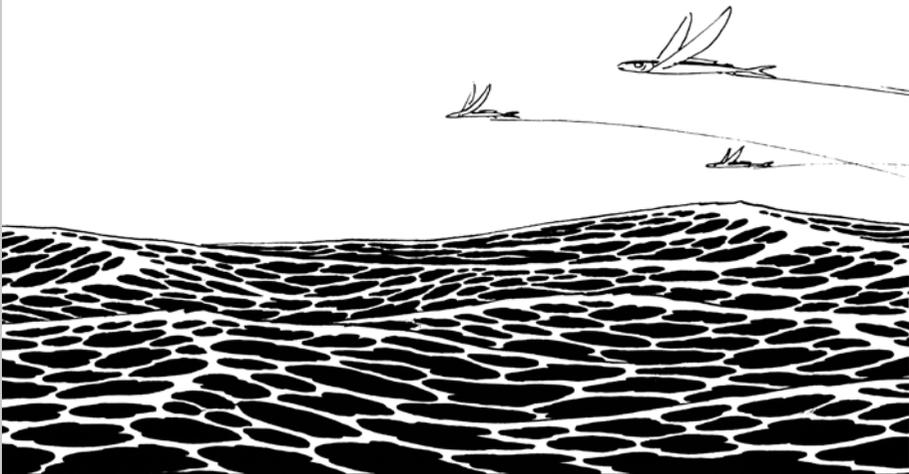


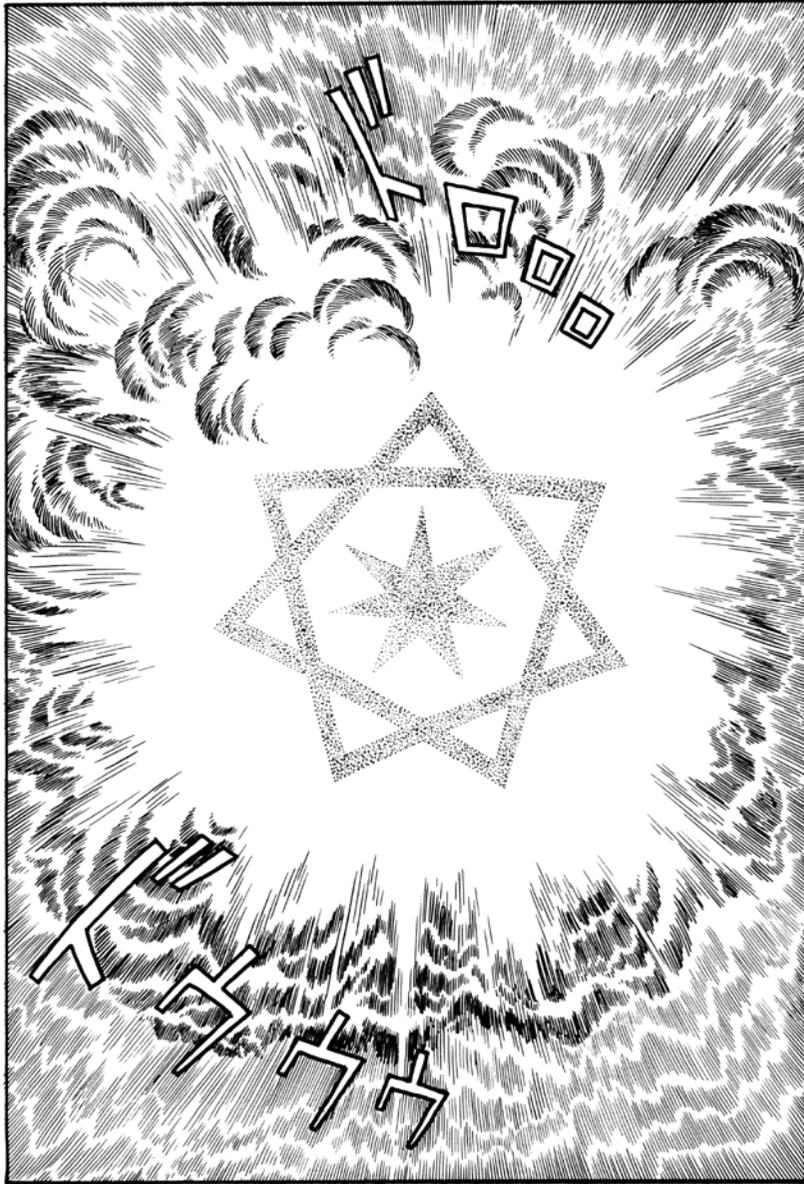
オゾン層に穴があけば
さんさんと降りそそぐ恵みの光も
殺人光線と化す



国連は人類の生存を深海移住の
可能性に賭けてアクエリアス計画を
押し進めようとしていた
しかしその前に海面下の領有を宣言して
海洋テロ結社のジオス(ジオサイド)が
名乗りを上げた

これに
立ち向かう 国連海中監視機構A.Oの
潜水艦隊ブルーレイバースには苛酷な
戦いが待ち受けている







第 1 章

あ お は だ
青6を吐き出せ!



そして
その戦いは
滅亡のパンタクルに
よって幕が切つて
落とされた……





潜水艦隊に備えて
われわれが手本にしてきた
どのマニュアルも

こんなヤツが
相手では
クソの役にも
立たない……



何を
すれば
いいのだ!



くおおお
こりゃ
どうしてくれる
……!!

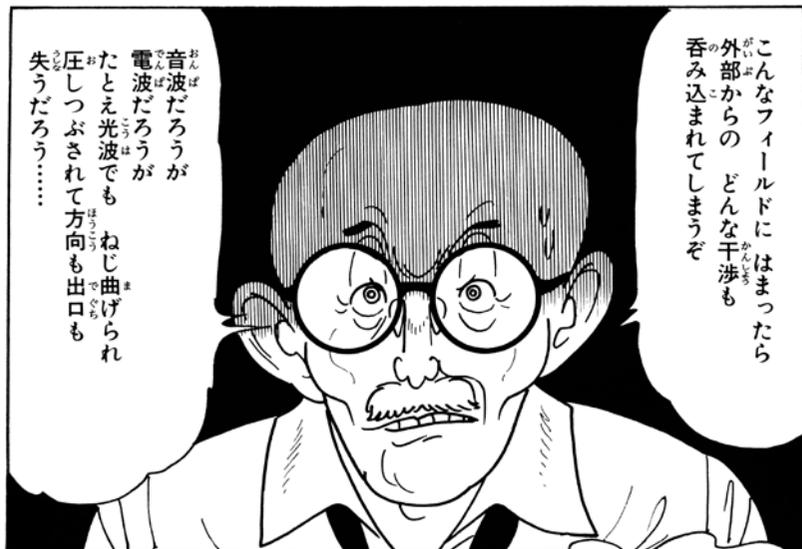


いったい
この光の向うに
何がいてと
いうのだ!?

!?

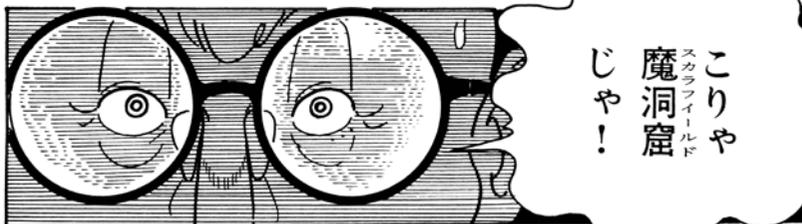
これから戦いに
臨むという矢先に
突きつけられた
この現象を どう理解
しろと言うのだ!?

相討ち覚悟の
魚雷が目の前で
止まってる!?
ゾーンダイク!
ガーフィッシュ!
何者なんだ?

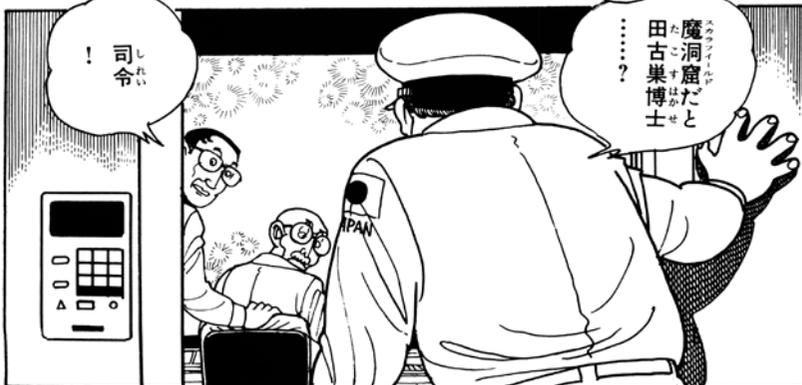


こんなワールドにはまったら
外部からの どんな干渉も
呑み込まれてしまうぞ

音波だろうが
電波だろうが
たとえ光波でも ねじ曲げられ
押しつぶされて 方向も出口も
失うだろう……



こりや
スカラフィールド
魔洞窟
じゃ!



魔洞窟だと
田古博士
……?

司令!



見ろ この
電磁波の
乱れようは
なんじゃ

ええ 博士
これはまるで
電磁波のトンネルに
飛びこんだ様です

トンネル
だとお
!



はあ!

そおか トンネルかあ!
芦須戸くん
さすがだよ 君は



スッポリ
呑み込まれ
とる!

そうだ この艦は
何かわかんが
ひどく大きなもの
に……





魚雷を止めたのはヤツの防衛手段か！
だがどうやって魚雷を止めたのだ……



それで

どうやって……



ガーフィッシュは恐るべきステルス性を利用してこの青6を待ちぶせて……

呑み込んだとして一体なんのためだ？



企みはわからん！
だが……
本艦が魚雷を撃ったことは多分、ガーフィッシュの計算外だったろう……

ヤツにとっては思いがけない誤算だったとすると……







急げ!

艦長、推進力を最大に上げろ!



司令、これは一体何が……



ドン!

うっ!



おう!